

# シンポジウム

## 遠郊外大型戸建て住宅団地は今 —住宅地開発のその後の動向を追う その3—

少子高齢化・人口縮小時代の現代において、高度経済成長期の文脈の中で量産された住宅団地の抱える問題は大きい。当シンポジウムでは、遠郊外の大型戸建て住宅団地に該当する上郷ネオポリス・鳩山ニュータウン・コモアしおつ・布佐平和台を対象に、それらの現状報告と「ストック活用」「コミュニティ再生」「住宅団地のライフサイクル」をテーマに討論し、遠郊外戸建て住宅団地の未来を探る。

### コメンテータ

藤村龍至（東京藝術大学准教授）  
小場瀬令二（筑波大学名誉教授）

### 事例紹介

上郷ネオポリス	瓜坂和昭 大和ハウス工業(株) ネクストライフ事業推進室室長
鳩山ニュータウン	菅沼朋香 RFA
コモアしおつ	藤原寛典 積水ハウス(株) 技術部部長
布佐平和台	高田康則 布佐平和台 自治会長

### 司会

片山律（千葉工業大学）

### プログラム

14:30 受付開始

15:00 シンポジウム開始

①主催者挨拶・趣旨説明

稲見成能（前橋工科大学）

②事例紹介

- ・上郷ネオポリス：瓜坂氏
- ・鳩山ニュータウン：菅沼氏
- ・コモアしおつ：藤原氏
- ・布佐平和台：高田氏

③討論、質疑応答

17:30 シンポジウム終了



**上郷ネオポリス**は横浜市栄区に位置し、大和ハウス工業により1972(昭和47)年から販売が開始された。当初計画は700戸(現在約900戸)で、その後46年を経過しても往時の宅地区画割りは守られ良好な住宅地景観を今も継続維持している。2016年には「まちづくり委員会」を発足させ、自治会と大和ハウス工業との間で「まちづくり協定」を締結し、「生涯この街で暮らしたい」を理念に安心して住み続けられるための取り組みを行っている。



**鳩山ニュータウン**は埼玉県比企郡鳩山町に位置し、1974(昭和49)年から東京のベッドタウンとして開発された。現在人口約7,500人、世帯数約3,200世帯であるが、高齢化率が約45%に達している(2016年1月現在)。そこで鳩山町が中心となり、福祉健康・多世代交流複合施設の開設や、鳩山町コミュニティ・マルシェを開設し、移住促進や空き家バンクの整備等を進めている。



**コモアしおつ**は山梨県上野原市に位置し、バブル経済期の戸建て住宅への需要に応えるため、積水ハウスにより1991(平成3)年から販売が開始された。80万㎡の区域内には住宅地や公園のほか、小学校や商業施設、医院などがあり、一つのまちを形成している。最寄り駅であるJR四方津駅とは「コモア・ブリッジ」というガラスドームに包まれた斜行エレベーターとエスカレーターで結ばれている。



**布佐平和台**は千葉県我孫子市に位置し、1976(昭和51)年から平和不動産により開発が進められ、戸建て住宅戸数は1,400戸である。建築協定と緑化協定が結ばれ、高さ9m以下、アパートや店舗は建築不可、敷地細分割不可、塀は生垣を基本とし、擁壁や地盤変更もコントロールされており、協定を守り「住環境は自分たちで守る」意識が高い住宅地として有名である。

日時:2018年3月2日(金) 15:00~17:30

場所:日本大学理工学部 1号館 第2会場(132教室) (東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)

参加費(資料代含む)  
会員 1,000円  
会員外 1,500円  
学生 無料

主催: 日本建築学会 関東支部 都市計画専門研究委員会

協賛: 未定 **ウェブでの申し込み受付は終了しました。**  
**当日会場3階の受付にてお申し込みください(お支払は現金のみとなります)。**

〇問い合わせ先: 日本建築学会関東支部 事務局 TEL:03-3456-2050 メール:kanto@ajj.or.jp

今回は、試験的にクレジットカード決済を実施致します。

今回の事前申込はクレジットカード決済のみとなりますので、ご了承くださいませようお願い致します。  
クレジットカード決済以外は当日受付となります(先着順)